

# Campus Today



## 第115回歯科医師 国家試験合格発表

# 本学新卒者合格率 90.4%

## 全国29歯科系大学中、2年連続第2位の快挙!

第115回歯科医師国家試験の合格発表が3月16日(水)に行われ、本学新卒受験者の合格率は90.4%、全国の国公私立29歯科系大学の中でも昨年に続き第2位となった。2016年以降、本学の歯科医師国家試験の新卒合格率は飛躍的に向上し常に上位を維持しているが、今回は平均合格率が61.6%と過去最低を記録する中、本学は昨年の95.4%に匹敵する合格率で、合格者数は昨年より13人増えて75人。19年ぶりに70人を超える大勢の歯科医師が誕生した。

厚生労働省は3月16日、第115回歯科医師国家試験の合格者を発表した。本学の新卒受験者83人中75人が合格(90.4%)、新卒合格率は全国29歯科系大学の中で第2位となった(昨年東京歯科大学に次いで第2位)。また、昨年卒業したが惜しくも

し、教職員学生一体となった教育体制を継続維持することができた。特に今年度は、学生組織を中心とした自主的学習体制が稀にみる素晴らしいものであった。学年委員の植野裕司君は「勉強会の開催によって学年全体の学習意欲が高まった」と振り返っている。本学の最新合格率が70人を超えるのは、2003年(第96回歯科医師国家試験)以来19年ぶりである。

国立・公立大学の平均合格率は73.0%、私立大学の平均合格率は58.0%であった。新卒者の学校別合格率において90%を超えたのは、東京歯科大学、松本歯科大学、岡山大学歯学部、の3校のみであった。

今回の第115回歯科医師国家試験は、合格者数が5年ぶりに2千人を切り、合格率は今まで最低であった63.3%(第107回)を下回り、過去最低の61.6%を記録した。

昨年公表された厚生労働省歯科医師国家試験制度改善検討部会の報告書によると、来年実施される第116回歯科医師国家試験では、必修問題において新

第115回歯科医師国家試験新卒合格率(上位5校)

大学名	立	受験者数	合格者数	合格率
東京歯科大学	私	126	121	96.0%
松本歯科大学	私	83	75	90.4%
岡山大学歯学部	国	51	46	90.2%
日本歯科大学新潟生命歯学部	私	45	40	88.9%
昭和大学歯学部	私	96	85	88.5%



歯科医師国家試験の出発式で合格を誓う第6学年生(45期卒業生)

## 矢島安朝病院長が講演 インプラントと歯科医療の未来を語る 長野県歯科インプラントネットワーク

「長野県歯科インプラントネットワーク」の第10回ミーティングが3月6日(日)にWeb開催され、本学病院の矢島安朝病院長(口腔インプラントセンター長)が「インプラントの医療安全から歯科医療の未来を考へる」と題して特別講演を行った。

矢島病院長は歯科インプラント埋入手術に伴う重篤な医療事

故の症例を紹介したうえで、社会から指摘されているインプラント治療の問題点として、①重篤な医療事故との認識がない、②インプラント撤去基準がない、③全身状態の把握ができていない、の3点を挙げた。

増えていることを明らかにし、国は21世紀型の歯科医師像として、全身状態を把握しながら安全・確実な歯科医療を実践できる歯科医師を求めていることを示唆した。

対策としては、診療室での緊急事態を想定した対処訓練の必要性を説き、インプラントの撤去基準に関しては、矢島病院長の私案をたたき台にして長野県歯科インプラントネットワーク独自のインプラント撤去基準をつくることを提案した。長期症例から今後のインプラント治療を考えると、高齢者の侵襲を伴う再治療が予測され、「超高齢社会が進み、高齢の患者が増えます。高齢者は多病でリスクを抱えていますから、歯科医師の全身疾患に対する知識は今以上に求められます」と強調した。

また、歯科医師国家試験においても近年は医科関係の出題が

さらに矢島病院長は、これからの歯科医療はどのように変化すべきかについても言及した。歯の喪失防止は、健康寿命に寄与するという質の高いエビデンスがある。「すでに歯を喪失してしまっただけの場合はインプラ



リモートで講演する矢島病院長

治療体制の整備が必須であり、ますますの発展を期待したい。(歯学部長 宇田川信之)

# 11年目の3・11。始まらなければ終わりは来ない

内閣官房参事  
松本歯科大学常務理事  
特命教授 飯島 勲

『プレジデント』4月1日号「リーダーの掟 飯島勲 より、11年目を迎えた3・11を振り返り、日本のエネルギー源について解説した記事を要約して紹介します。

今年も3月11日がやってき  
きかたつたと感じる。  
た。2022年2月、台湾が  
福島第一原発の事故を受けて  
2011年3月から続けてきた  
福島、茨城、栃木、群馬、千葉  
の5県産食品の輸入規制を緩和  
する方針を発表した。日本側の  
科学的根拠に基づく説明が認め  
られた形だ。当初は55カ国が日  
本産食品の輸入を規制していた  
が、生産者の皆さまや関係省庁  
が地道に調査を続け、日本の食  
品は安全であるというデータを  
集めた結果、多くの国々が規制  
を撤廃した。昨年は、米国とシ  
ンガポールが規制を撤廃、EU  
も輸入規制を緩和しており、こ  
こまで来るのに10年かかったの  
は、やはり原発事故の影響は大

騰による経済への影響がある。  
近年、原油価格は値上がりの傾  
向にあったが、ウクライナ情勢  
による供給懸念の高まりから、  
価格はさらに高騰した。原発を  
ストップして火力発電に頼って  
いる日本はこの影響を受けやす  
く、すでに電力大手10社のうち  
7社が4月の電力料金の値上げ  
を決めた。世界最大の資源輸出  
国ロシアが絡んでいる以上、燃  
料価格はさらに高騰する可能性  
がある。



3・11の津波を耐え抜いた「奇跡の一本松」

さらに、菅義偉首相が宣  
言した2050年のカーボンニ  
ュートラルを達成するために  
も、火力発電に頼り続けるわけ  
にはいかない。他のエネルギー  
源を考える必要がある。  
資源エネルギー庁の2020  
年の調査によると、1キロワッ  
ト時ごとの発電コストは、石炭  
火力で12・5円、液化天然ガ  
ス(LNG)火力10・7円、原  
子力11・5円、石油火力26・7  
円、陸上風力19・8円、洋上風  
力30・0円、太陽光(事業用)  
12・9円、太陽光(住宅用)

は、原発ゼロを宣言し、火力発  
電の削減を進めているが、それ  
では自国に必要な電力を賄うこ  
とができず、隣国のフランスか  
ら原子力で発電した電力を購入  
している。  
欧州の電力供給元となってい  
るフランスでは、マクロン大統  
領が新たな原子力発電所を最大  
で14基建設する計画を発表した  
ばかりだ。EUも原子力発電を  
環境に害を与えないエネルギー  
であると認める方針だという。  
いま、国際社会でも注目されて  
いる気候変動や持続可能性とい  
った課題を考えれば、日本でも  
原子力発電をもう一度考えるべ  
きではないだろうか。

私は、このまま未来永劫原子  
力発電を続けるべきだと考えて  
いるわけではない。原子力を活  
用し、より原子力を知ること、  
将来への不安なく原子力発電を  
終わらせるための技術者を育成  
してほしいのだ。そして、水素  
やアンモニアなど、環境に負荷  
をかけない次世代のエネルギー  
に引き継いでもらいたいと考え  
ている。

この4月、本学は第51期の新  
入生を迎える。第1期生から教  
育に携ってきた教員は、筆者を  
含めて数名しか残ってはいない  
が、すっかり大木となったキャ  
ンパスの樹々を見てもあらため  
て「年輪」を感じさせられる。  
振り返ってみれば、半世紀は  
それなりに長い時間だ。この間  
の医学の進歩もさることなが  
ら、人びとの健康や医  
療についての考え方も  
大きく変貌してきた。

は末期の口腔癌患者を担当した  
ことがあるが、「たとえ1分1  
秒でも患者の命を永らえるのが  
医者務めだ」と教えられてい  
たから、無益な蘇生処置を続け  
てご本人やご家族に辛い思いを  
させた苦い記憶がある。  
そうした「医者中心医療」が、  
昭和天皇のご最期を巡る議論な  
どから見直され、「患者中心医  
療」が主流となったのは、まだ  
比較的新しいことなのだ。  
歯科医療でも「病気を治すの  
だから多少の痛みは我慢しろ」  
という時代が長く続いていた。  
「歯医者は怖いから」と、歯  
痛で我慢できなくなるまでは受  
診しない。痛みが止まれ  
ば治療を中断する……と  
いう人も多かった。筆者  
が小児歯科でリコールシ  
ステムを広め始めた時代  
には、むしろ歯がない子ど  
もが受診するはずがない  
だろうと、冷笑されたも  
のだった。

化石燃料に依存することの問  
題として、まず、燃料価格の高  
きかたつたと感じる。  
しかし、昨今のエネルギーを  
めぐる状況を鑑みるに、原子力  
発電の必要性についてももう一度  
考える時期に来ているのではな  
いかと思う。  
日本のエネルギー自給率は諸  
外国に比べて大変低い。10年に  
20・3%あったものが、福島第  
一原発の事故後、国内の原子力  
発電所がすべて停止し、再び火  
力発電中心の電源構成となった  
ことで、一時は6%台まで減少  
した。18年には11・8%まで回  
復したが、そのうち化石燃料依  
存度は85・5%と依然として高  
水準だ。  
化石燃料に依存することの問  
題として、まず、燃料価格の高

試験の受験資格要件」②同試  
験(共用試験)に合格した歯科  
医学生が臨床実習として歯科医  
業を行うことができる旨を明確  
化」との法改正があり共用  
試験は歯科医師養成に不可欠な  
ものとなる。(注①は令和8  
年4月1日②は令和6年4月  
1日施行)

太陽光については技術の進歩  
によるコストの低下がみられ  
る。こうした技術の進歩から、  
現在の火力発電中心の電源構成  
から再生可能エネルギーを中心  
にしていくべきという声がある  
が、再生可能エネルギーは非常  
に不安定なものであるという現  
実は変わらない。  
再生可能エネルギー推進派の  
皆さんがよく例に挙げるドイツ

愛知学院大学・鈴木一吉先生よ  
り概ね問題なく試験が実施され  
ていたとの総評をいただくこと  
ができた。  
2022年度共用試験OSCE  
(OSCE小委員会委員長 初修室 森 啓  
総合診療科・総合診療科 准教授)

私に、このまま未来永劫原子  
力発電を続けるべきだと考えて  
いるわけではない。原子力を活  
用し、より原子力を知ること、  
将来への不安なく原子力発電を  
終わらせるための技術者を育成  
してほしいのだ。そして、水素  
やアンモニアなど、環境に負荷  
をかけない次世代のエネルギー  
に引き継いでもらいたいと考え  
ている。

この4月、本学は第51期の新  
入生を迎える。第1期生から教  
育に携ってきた教員は、筆者を  
含めて数名しか残ってはいない  
が、すっかり大木となったキャ  
ンパスの樹々を見てもあらため  
て「年輪」を感じさせられる。  
振り返ってみれば、半世紀は  
それなりに長い時間だ。この間  
の医学の進歩もさることなが  
ら、人びとの健康や医  
療についての考え方も  
大きく変貌してきた。

は末期の口腔癌患者を担当した  
ことがあるが、「たとえ1分1  
秒でも患者の命を永らえるのが  
医者務めだ」と教えられてい  
たから、無益な蘇生処置を続け  
てご本人やご家族に辛い思いを  
させた苦い記憶がある。  
そうした「医者中心医療」が、  
昭和天皇のご最期を巡る議論な  
どから見直され、「患者中心医  
療」が主流となったのは、まだ  
比較的新しいことなのだ。  
歯科医療でも「病気を治すの  
だから多少の痛みは我慢しろ」  
という時代が長く続いていた。  
「歯医者は怖いから」と、歯  
痛で我慢できなくなるまでは受  
診しない。痛みが止まれ  
ば治療を中断する……と  
いう人も多かった。筆者  
が小児歯科でリコールシ  
ステムを広め始めた時代  
には、むしろ歯がない子ど  
もが受診するはずがない  
だろうと、冷笑されたも  
のだった。

## 臨床参加型実習に向けて 技能・態度・知識を適正に評価 第4学年 OSCE を実施



多くの教職員が参加した OSCE の事前説明会

2月19日(土) 第4学年78人  
を対象に、2022年度共用試  
験歯学系OSCE (Objective  
Structured Clinical Examinat  
ion = 客観的臨床能力試験) が  
共用試験機構派遣監督者2人、  
外部評価者6人をお迎えして実  
施された。

共用試験は歯科医師の資格の  
ない学生が臨床実習において医  
療行為に参加するために、事前  
に学生の能力(態度・技術・知  
識)を評価するための目的  
で実施されている。特に今後  
は制度の見直しにより、「①共  
用試験合格者を歯科医師国家

試験の受験資格要件」②同試  
験(共用試験)に合格した歯科  
医学生が臨床実習として歯科医  
業を行うことができる旨を明確  
化」との法改正があり共用  
試験は歯科医師養成に不可欠な  
ものとなる。(注①は令和8  
年4月1日②は令和6年4月  
1日施行)

OSCEは、模擬患者さん、  
模型を用いた模擬診療形式で主  
に技能、態度を評価される。学  
生は緊張しながらも、懸命にそ  
れぞれの課題に取り組んでい  
た。この試験は全課題平均点70  
点以上を合格基準としており、  
受験生にはかなり高いハードル  
となっている。

試験終了後、機構派遣監督者、  
外部評価者、各部門責任者と合  
同反省会の際に、機構派遣監督  
者の朝日大学・住友伸一郎先生、

## 第6学年・保科沙矢夏さんが 日本小児歯科学会 学部学生優秀賞を受賞

本学6学年の保科沙矢夏さん  
に、2021年度の日本小児歯  
科学会学部学生優秀賞が授与さ  
れました。

記念品を贈呈しています。  
2021年度も小児歯科学会  
の将来計画検討委員会において  
該当事が審議され、保科さんが  
学生優秀賞として表彰されまし  
た。保科さんは在学中の学業が  
優秀であり、小児歯科学基礎実  
習の評価や臨床実習の成績が極  
めて優秀であることから推薦さ  
れました。表彰された優秀者は、  
その学業や臨床態度・技能・知

識が周囲に認められることとな  
り、さらに日本小児歯科学会学  
部学生優秀賞が今後の小児歯科  
学分野の臨床や研究に邁進され  
ることが望まれています。  
保科さんは本学で歯科医師臨  
床研修を行う予定であることか  
ら、研修のみならず今後さら  
なる活躍に期待します。



受賞した保科さん(左)と筆者

筆者も都内の病院勤務時代に

は、健康寿命のカギは  
「良い歯」だと信じて、熱心  
に通ってきた。ださる方が多い。  
「Cure (狭義の治療) から  
Care (包括的な健康増進) へ」  
と呼ばれる医療のトレンドの革  
命的な変化は、歯科医療の存在  
意義を改めて見直すものとなっ  
た。人口の高齢化が進む中で、  
歯の健康が老後のQOLを支え  
る大切な柱であることが明確に  
認識されつつあるのだ。  
エッセンシャル・ケアワーカー  
に位置づけられた歯科医師  
は、もはや「格下の医療者」で  
はない。

## 歯科は「格下の医療」ではない

高年齢者では「健康寿命のカギは  
「良い歯」だと信じて、熱心  
に通ってきた。ださる方が多い。  
「Cure (狭義の治療) から  
Care (包括的な健康増進) へ」  
と呼ばれる医療のトレンドの革  
命的な変化は、歯科医療の存在  
意義を改めて見直すものとなっ  
た。人口の高齢化が進む中で、  
歯の健康が老後のQOLを支え  
る大切な柱であることが明確に  
認識されつつあるのだ。  
エッセンシャル・ケアワーカー  
に位置づけられた歯科医師  
は、もはや「格下の医療者」で  
はない。

## 創立者の「視点」



大学誌編集主任  
特任教授 笠原 浩

この4月、本学は第51期の新  
入生を迎える。第1期生から教  
育に携ってきた教員は、筆者を  
含めて数名しか残ってはいない  
が、すっかり大木となったキャ  
ンパスの樹々を見てもあらため  
て「年輪」を感じさせられる。  
振り返ってみれば、半世紀は  
それなりに長い時間だ。この間  
の医学の進歩もさることなが  
ら、人びとの健康や医  
療についての考え方も  
大きく変貌してきた。

理事会報告

病院の収支改善、学生募集人員の確保に努める

学校法人松本歯科大学の第201回理事会、第143回評議員会が3月24日(木)に開催され、2022年度の事業計画および予算案、中期計画などの案件が審議され、いずれも満場一致で承認可決した。



事業計画を説明する廣瀬事務局長

【主な会議事項】

- 1. 2021年度補正予算案および2022年度予算案について
2. 2022年度事業計画について
3. 中期計画(2022~26年度)案について
4. 2022年度内借入限度額の承認について

会議事項1、2、3、4については詳細な説明がなされ、承認可決した。なお、2022年度事業計画の目標および概要は次のとおり。

【事業計画(目標)】

1. 歯学部

松本歯科大学(歯学部)は、1972年1月29日に設置認可を受け、同年4月1日に開設し、本年度で51年目を迎える。歯学部は、建学の理念を具現化し人間教育全体を教育目標とし、人間としての倫理に基づき、

「良き歯科医師となる前に良き人間たれ」という教育方針をモットーとし、学生が将来歯科医師として社会に貢献し、歯科医学の発展に寄与することができ、人材の育成を目指している。
①歯学部教育の質の保証と向上
②退学者、除籍者の低減
③標準修業年限内での卒業率の向上
④現役学生の歯科医師国家試験合格率の向上
⑤新管理システムの導入
⑥学内会議の効率化

2. 大学院歯学独立研究科・総合歯科医学研究所
松本歯科大学大学院歯学独立研究科は、学部の講座を主体とした研究科ではなく、総合歯科医学研究所を基盤にした独立研究科で、2002年12月19日に設置認可を受け、2003年4月1日に開設し、本年度で20年目を迎える。
大学院は、口腔生命科学の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、もって文化の進展に寄与することを目的とし、創造性豊かな優れた研究者を養成するとともに、社会環境に柔軟に対応できる豊富な学際的知識と専門的技術を修得した境界型研究者・歯科医療職人を養成することを目指している。

3. 衛生学院
松本歯科大学衛生学院は、1976年2月14日に歯科衛生士養成所の指定を受け、同年4月に開校した。1977年3月9日には、専修学校として設置認可を受け、開校以来本年度で47年目を迎える。2022年度より、入学定員を50人に拡大している。

衛生学院は、歯科衛生士に必要な知識と技術を教授するとともに、豊かな人格を養い、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的としている。
今日、人口の高齢化が進行するなかで、老後のQOLを支える柱として、歯と口の健康の意義があらためて認識されるようになってきた。口腔健康管理の担い手として、歯科衛生士は「最も求められる医療専門職」のひとつといわれ、その活動分野はますます広がりを増している。チーム医療の推進が強調されるなかで、歯科医師をはじめとする多くの職種と協働して専門性を発揮できる質の高い歯科衛生士を送り出していけるように、教育内容の一層の充実を図っている。

①社会のニーズを踏まえた実践的な歯科衛生士の育成
②優秀な入学者の確保
③新卒者の歯科衛生士国家試験の全員合格
(II 病院・診療)
地域医療及び本学を支える医師、歯科医師、パラメディカルスタッフを育成し、経費率意識及び自費率の向上を図る。
地域医療を支え、質の高い効果的医療を提供し病診連携を強化させ、健康寿命の延伸に向けた疾病予防・重症化予防及び各科の患者情報を共有し、医科歯科連携を充実させる。
新型コロナウイルスを含む感染症予防を強化し、社会貢献を果たす。

(III 管理・運営)
病院の収支改善、学生募集における募集人員の確保、それ以外のコスト削減を基本とする。
予算に基づく適正な予算執行および予算外の支出については大学運営上必要不可欠な対応を優先させつつ、その執行にあたって十分な検討を行い、引き続き効率的な管理・運営を行う。
(2)省エネルギー対策
(3)設備の更新
(4)図書館では、学生・研究者のニーズに応えた蔵書管理および、学術情報の構築と提供を行う。
(5)新型コロナウイルス感染症拡大防止
(6)新規人材の確保及び、優秀な若手人材登用を進め人員体制整備を実施する。定年退職(予定)者の業務引き継ぎを進めつつ、将来的に切れ目のない、事業継続可能な人員体制を構築するため、中途採用を含め人員の確保に努める。
(7)2012年度より各部署における業務の効率化と省人化による削減した経費の維持に努めつつ、更なる経費の削減を実現して大学の安定的運営を実現させる。
(8)予算外経費については、内容を精査の上、必要かつ緊急の案件に限り実行し、必要に応じて内容の変更、再度の見積もり依頼をして金額の修正などを行う。

(9)大学への寄附金について、その趣旨を明確に伝え、学内行事やホームページ、刊行物などを通じてより一層の周知強化を行い、寄附促進のための工夫をし、寄附金の増収に努める
(10)歯科医師国家試験の合格率向上や特待生制度など、一日体験入学やウェブ広告、高校・予備校訪問にてアピールし、募集人員96名を確保する。
(11)知的財産の管理の適切なライセンス活動に努める。
(12)科学研究費助成事業への応募を奨励するための新たな学内研究費配分制度を継続実施。

役職教員



学長 川原一祐



理事長 矢ヶ崎 雅



学務部長 中村浩彰



図書館長 山本昭夫



歯学部長 宇田川信之



大学誌編集主幹 笠原 浩



大学院歯学独立研究科長 総合歯科医学研究所長 平岡行博



学生部長 川原一郎



衛生学院長 笠原悦男



副病院長 相馬啓子



病院長 矢島安朝

2022年度予算

2022年4月1日～2023年3月31日

(単位 円)

Table with 4 columns: Income Category, Budget Amount, Expense Category, Budget Amount. Total income and expense are both 6,095,440,000 yen.

# Alumni News

松本歯科大学校友会

## 米経済紙『The Wall Street Journal』別冊に 19期生・露木良治先生の記事が掲載



『The Wall Street Journal』別冊

記事が掲載されました。次の時代を担うリーダーたちの特集号で、注目を浴びる企業経営者や医療従事者らのひとりとして露木先生の経歴やビジョンが記されています。同紙の記事を要約して紹介します。



露木先生のインタビュー記事

アメリカの経済紙『The Wall Street Journal』の別冊『NEXT ERA LEADERS AWARD』に、19期生・露木良治先生(静岡県沼津市「デンタルオフィスみなと」開業)のインタビューが掲載されています。

当院のモットーは「共感の医療」と「顔の見える医療」です。歯科医師としては「技術とコミュニケーション」は医療の両輪である」ことを念頭に治療にあたっています。患者さんとの信頼関係が「こそ、初めて技術が生きてくる。どちらか一方だけでは、治療は成り立たないと思っています。

そこで得たのは「人生とは理解者を探し求める旅である」ということ。理解者を得るためには、自分がひたむきに努力する必要がある、同時に自分が相手のために何が出来るかが重要になってくると思います。お互いに相手を理解する。それは今、患者さんと向き合うときでも大切な指針となっています。

25歳でした。歯科大学では「悔いのないように生きよう」と心に誓い、卒業後は口腔外科を専門に学び、勤務医を経て開業したのは43歳のとき。遅いスタートでしたが、自分を理解してサポートしてくださる方々に出会い、自分の道を進むことができました。

今年7月(月)、春らしい日差しの中、本学講堂で第44回衛生学院卒業授与式が執り行われ、3年間の学びを終えた卒業生25人が学び舎を巣立った。

今年、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、ご父母、来賓、在校生の出席は遠慮いただき、卒業生は卒業式当日に抗原検査を行い、全員の陰性を確認して式に臨んだ。

矢ヶ崎雅理事長は「歯科衛生士は魅力ある職業です。素晴らしい歯科衛生士になってください」と期待の言葉を贈り、笠原悦男学院長は、「社会に貢献できる立派な人間として、歯科衛生士として輝く人生を進んでください」とエールを送った。

卒業生を代表して三澤真優さんは「困難や悩みを直面しても本学での学びを思い出し、一人ひとりが目標をもって活躍できるように、今まで以上に努力します」とお礼の言葉を述べた。



卒業生を代表しお礼の言葉を述べる三澤さん

## 今まで以上に努力を誓う 衛生学院卒業式 — 歯科衛生士国家試験は全員が合格 —

歯科衛生士として新たな一歩を踏みだす。なお、歯科衛生士国家試験の合格発表は3月25日(金)に行われ、本学卒業生25人は全員が合格した。

## 幅広い内容の症例報告に活発な質疑応答

### 臨床研修歯科医 症例報告会

3月3日(木)、4日(金)の両日、本学図書館学生ホールにおいて、2021年度臨床研修歯科医の症例報告会が開催された。会の冒頭、矢島安朝病院長より「1年間の研修内容について深く考察した症例の内容を抄録で拝見しましたが、非常によくまとめられています。聴取する先生方とともに症例報告会を拝聴し、本会の意義が高まることを期待しています」というお言葉をいただいた。

3日には20人、4日には21人の研修歯科医が、約15分間の発表時間の中で、特に関わりの深

かった症例についてスライドを用いて報告した。報告後は活発な質疑応答が行われ、5分間の質疑応答時間をかなり超過して、座長から質問を制限しなくてはならないような報告も見られた。

報告内容も対象者が10歳未満から80歳代の高齢者まで幅広く、その治療内容も総合診療的なもの、前研修歯科医から引き継いだ症例も報告された。さらに本年度特徴的であったのは、専門研修の効果もあり、矯正歯科、障害者歯科、インプラント治療などを含めた幅広い内容の



スライドを用いて発表する研修医

症例が報告されたことである。2日間の最後には、亀山敦史研修管理委員長から「2日間の内容を、発表した先生方はもちろんのこと、質問した先生方や聴取してコメントを記載している先生方にとっても、明日から

今回の症例報告会の内容をさらに精査してまとめたものは、本年6月末に「2021年度臨床研修歯科医症例報告集」として発刊される予定です。可能であればそれもお手元にてご覧いただき、来年度は、今回参加が叶わなかった多数の臨床研修協力施設の指導歯科医の先生方とともにさらに盛大な報告会にしたいと存じます。

症例報告会の症例指導に関わりました学内と協力型施設の指導歯科医の先生方、座長をお勤めいただきました研修管理に関わる先生方に末筆ながら厚く御礼申し上げます。

図書館では3月1日(火)〜8日(火)の6日間にわたり、蔵書点検を行った。蔵書冊数が多い当館は一度に点検を行うことが難しいため、「医学・歯学の専門図書」と「文学・社会を含む一般分野図書」と、分類を大きく分けて分けて隔年で点検を行っている。

昨年度は医学・歯学の専門図書を点検したので、今年度は一般分野図書3万8千60冊を対象に点検を行った。本一冊一冊のバーコードをリーダーで読み取っていく地道な作業ではあるが、いわゆる図書館の棚卸しともいえる蔵書点検は、図書の所在を確認し、適正に管理してい

く上では不可欠なものである。実際に書架にある図書と、コンピュータのシステムデータを突き合わせ、行方不明となっている図書を洗い出し、探索したり、時にはシステムデータ自体のミスに気づき変更する必要がある。閲覧室と裏方の管理とが一致しているかどうかの確認作業となっている。書架の奥に押し込まれていたり、傷んでいる図書を発見したりする機会でもある。

今年度の点検結果では、新たに所在不明となった図書が1冊、前回の点検に引き続き今回も不明のままとなった図書が1冊あることがわかった。所在不明の図書は、引き続き調査中である。

## 図書館で蔵書点検終える

### 一般分野図書約3万8千冊を点検



蔵書の点検作業

### 人事異動

〔退職〕 2月28日付  
青木 勇人 (臨床検査室視能訓練士)  
〔定年退職〕 3月31日付  
一ノ瀬敦博 (事務局長職務副主幹)

### 4月行事予定

6日(水)〜8日(金) オリエンテーション (第1学年)  
7日(木) 松本歯科大学入学式  
南学部・大学院・衛生学院 クラブ説明会 (南学部 衛生学院)  
オリエンテーション (大学院)  
8日(金) オリエンテーション (第2,3学年)  
オリエンテーション (第1,2学年)  
健康診断 (第1,6学年)  
健康診断 (衛生学院第1,3学年)  
9日(土) 入寮説明会 (第1学年 (入寮生のみ))  
11日(月) 前期授業開始 (第1,2,3学年)  
オリエンテーション (南学部 衛生学院)  
12日(火)〜13日(水) オリエンテーション (南学部 衛生学院)  
19日(火) 献血  
27日(水) 大学院発表会

### 受験生の皆さんへ

見せてほしい 君の個性 君の情熱

### 一日体験入学

① 5月22日(日)  
② 6月19日(日)  
※ 5, 6月開催分のみ掲載  
開催時間 9:30~15:00 (受付 9:00~)  
●キャンパスツアー ●ランチ体験  
●模擬実習 ●入試説明・進学相談 など  
※ 参加希望の方は、本学ホームページまたは電話にてお申し込みください。  
■お問い合わせ■  
HOT LINE 0263-54-3210  
松本歯科大学 入試広報室  
www.mdu.ac.jp

### Matsumoto Dental University SNS Information

QRコードとSNSアイコン (LINE, twitter, Instagram, facebook) を提供している。